

登別市  
子ども・子育て支援に関する  
ニーズ調査結果  
(小学生編)

令和元年11月

登別市



# 目 次

<b>第 1 章 調査の概要</b> .....	1
1. 調査実施の目的 .....	3
2. 調査の種類 .....	3
3. 調査方法と回収状況 .....	3
4. 調査項目 .....	3
5. 調査結果を見る上での注意事項 .....	3
6. 居住区域の説明 .....	4
7. 用語の説明 .....	4
<b>第 2 章 調査結果の概要</b> .....	5
1. 小学生調査 .....	7
<b>第 3 章 調査結果の詳細（小学生調査）</b> .....	11
1. 基本属性 .....	13
(1) 居住地区 .....	13
(2) 子どもの学年 .....	13
(3) 子どもの人数 .....	13
(4) 調査票回答者 .....	14
(5) 回答者の年代 .....	14
(6) 回答者との配偶関係 .....	14
(7) 子どもの身の回りの世話をを行う方 .....	15
2. 放課後の過ごし方 .....	16
(1) 放課後を過ごしている場所の現状と希望 .....	16
3. 放課後児童クラブの利用希望 .....	17
(1) 放課後児童クラブの利用希望 .....	17
4. 宿泊を伴う一時預かり等の利用 .....	22
(1) 家族以外に子どもをみてもらう必要性の発生状況（過去 1 年間）とその対応 .....	22
5. 病気の際の対応 .....	24
(1) 病気等で小学校に通学できず特別な対応をとる必要性の発生状況 .....	24
(2) 病児・病後児保育事業の利用意向と希望 .....	26
(3) 仕事を休んでの看病意向と希望日数 .....	27
6. 子育て支援全般 .....	28
(1) 子育てをされていて感じること .....	28
(2) 市の子育てのしやすさとその理由 .....	29
(3) 以前と比較した市の子育て環境の改善状況とその理由 .....	30

(4) 市に望む子育て支援策	31
(5) 子育て支援に関する意見・要望（自由記述）	33

<b>第4章 調査票</b>	39
小学生調査票	41
小学生用語説明	50

# 第1章 調査の概要



## 1. 調査実施の目的

登別市では、次期「子ども・子育て支援事業計画」を作成するため、皆様が教育・保育について日頃の考えていることや、子育てに関する支援サービスの利用状況や今後の希望などを伺い、計画に反映させることを目的に調査を実施した。

## 2. 調査の種類

調査名	調査対象
小学生調査	(H19. 4. 2～H25. 4. 1生まれ) 市内在住の小学生の保護者

## 3. 調査方法と回収状況

調査方法：郵送によるアンケート調査

調査期間：令和元年4月23日（火）～5月10日（金）

<回収状況>

調査名	発送数	回収数	回収率
小学生調査	1,200件	517件	43.1%

## 4. 調査項目

調査名	調査項目
小学生保護者調査	1. 子どもと家族の状況 2. 放課後の過ごし方 3. 放課後児童クラブの利用希望 4. 宿泊を伴う一時預かり等の利用 5. 病気の際の対応 6. 子育て支援全般 7. 自由記述

## 5. 調査結果を見る上での注意事項

- ・表、グラフ中の「n」は、各設問に対する回答者数を示している。
- ・百分率（%）の計算は、「n」を分母とし、小数第2位を四捨五入して表示している。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、%の合計が100%を超える場合がある。
- ・本文、表、グラフ中は、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。

## 6. 居住区域の説明

報告書内で用いられている居住区域は以下の町名で構成される。

地 区	町 名
登別温泉地区	カルルス町、上登別町、登別温泉町、中登別町
登別地区	登別東町、登別本町、登別港町、札内町、富浦町、新栄町
幌別地区	幸町、千歳町、幌別町、来馬町、常盤町、中央町、柏木町、富士町、片倉町、新川町、鉾山町、桜木町、川上町、青葉町、緑町
鷺別地区	大和町、若山町、富岸町、新生町、栄町、若草町、鷺別町、美園町、上鷺別町

## 7. 用語の説明

報告書内で用いられている用語については、41Pを参照

## 第2章 調査結果の概要



## 1. 小学生調査

### (1) 基本属性

- 居住地域は「鷺別地区」が48.0%、「幌別地区」が43.1%となっており、「登別温泉地区」(1.4%)、「登別地区」(5.6%)が1割以下となっている。なお、この割合は、調査票発送時の各地区の割合とほぼ同じである。
- 子どもの学年は、各学年ともほぼ同じ割合となっている。
- 子どもの人数は、「2人」が51.6%、次いで「3人」が24.6%、「1人」が18.4%となっている。子どもが4人以上いる世帯は、4.5%となっている。
- 調査票の回答者は、「母親」(92.6%)が大部分を占め、年代は「30代」が48.2%、「40代」が46.0%、配偶関係は「配偶者がいる」が86.3%と大部分を占めている。
- 子どもの身の回りの世話をを行う人は、「父母ともに」が51.5%で最も多く、「主に母親」が45.3%となっている。

#### 【ポイント】

現在、市内の小学生の数は約2,100人であるが、年々減少傾向にあり、5年度には約1,800人、10年度には約1,600人程度となることが見込まれる。

### (2) 放課後の過ごし方

- 子どもが放課後を過ごす場所としては「自宅」が73.8%と多く、「習い事(スポーツ、塾など)」(57.6%)や「祖父母宅や友人・知人宅」(27.6%)も多くなっている。
- 行政サービスである「児童館」(17.6%)、「放課後児童クラブ」(16.2%)で過ごす児童も多いが、「放課後児童クラブ」の利用状況は、就学前児童における利用希望の〇%と比べ低くなっている。

#### 【ポイント】

児童館、放課後児童クラブに一定の利用希望があることから、各施設における設備、サービスの充実が求められる。

### (3) 放課後児童クラブの利用希望

- 現在、利用の有無にかかわらず、放課後児童クラブを利用したいと希望している方は、平日が33.2%、土曜日が18.0%、日・祝日が9.1%、長期休暇中は40.1%となっており、長期休暇中の利用希望が多い。
- 学年別にみると平日、土曜日、日・祝日、長期休暇中いずれの場合についても学年が高学年になるにつれて利用希望は少なくなる。
- 利用したい時間帯をみると平日は「18時台」までが43.7%と最も多く、続いて「17時台」までが29.9%となっている。また「19時台」までの利用希望も8.4%となっている。土曜日、日・祝日、長期休暇中ともに利用希望の時間帯が5割以上となっているのは、「8時台」～「17時台」となっており、「18時台」まで利用を希望している人は3割を超えている。

#### 【ポイント】

放課後児童クラブの利用状況と利用意向をみると、現在利用している人16.2%に対して、利用希望は平日33.2%となり、倍以上となっている。

しかし、その内訳を見ると、平日「週4日以上利用したい」は19.4%、「週1～3日利用したい」が13.8%と2分している。

このことから、放課後児童クラブを定期的に週4日以上利用することを希望している世帯は、現状の利用率16.2%と同程度であり、単純なニーズへの対応よりも「週に何回」、「不定期に利用したい」という希望への対応が必要である。

#### (4) 宿泊を伴う一時預かり等の利用

- この1年間に保護者の用事（冠婚葬祭、家族の病気など）により子どもを家族以外に預けなければなかったことがある人は24.0%となっており、7割以上は預けたことがなかったと答えている。預けたことがある方の対処方法としては、「親族・知人にみてもらった」と答えた方が8割以上となっており、「仕方なく子どもを同行させた」、「仕方なく子どもだけで留守番させた」がともに約2割となっている。

#### 【ポイント】

ショートステイ事業や認可外保育施設などを利用していない方が多いが、いざという時にそれらのサービスを利用できるという安心感は、地域の子育てのしやすさ全般にかかわる要素として重要である。

#### (5) 病気の際の対応

- この1年間に子どもが病気やケガのために学校に通うことができず、特別な対応をとる必要性があった方は約4割となっている。対応の内容としては、「母親が休んだ」(73.5%)、「親族・知人に預けた」(31.4%)が多くなっている。
- 父親または母親が休んだと答えた方の中で、病児・病後児保育事業を利用したいと希望している人は約4割となっている。利用したい事業は「小児科などを併設した施設」(77.8%)が多くなっている。

#### 【ポイント】

病児・病後児保育は、子育て家庭にとって確保してほしいサービスであるが、提供体制の確保等に課題がある。

#### (6) 子育て支援全般

- 登別市は子育てしやすいまちだと思うは26.8%、しやすいと思わないは47.8%、わからないが25.1%となっており、子育てしにくいまちと思っている方が多い傾向となっている。また、5年前と比べて子育て環境が良くなったかとの問いでは、「あまり変わらない」や「わからない」という意見が多く、市の子育て環境はあまり良い評価を得られていない。
- 登別市に望む子育て支援策としては、「医療費の免除拡大」(68.1%)、「休日・雨天時の活動施設」(55.9%)、「子育て世帯への生活用品の割引・優遇措置等」(43.3%)と続いている。この上位3項目は地区にかかわらず多くなっており、市内の子育て

家庭の要望として共通している。

- 「児童館の整備」(24.4%)も比較的多く、「休日・雨天時の活動施設」と合わせて、子どもの居場所づくりの充実という観点が求められている。
- 子育て支援に関する自由記述では、雨天時でも遊べる屋内施設や遊具が充実した公園、小学校に近い児童館の設置などが多く寄せられており、日中の子どもの居場所づくりをさらに進める必要がある。
- 放課後児童クラブについて、他市と比べ負担金が高いとの意見や長期休暇中のみ利用する場合の料金設定、臨時休校時の放課後児童クラブの開所などの希望が多く、より子どもを預けやすい環境の整備が必要である。

**【ポイント】**

子育て支援策要望としては、「経済的支援」、「医療の充実」、「公園、遊び場、子どもの居場所」の3点に集約されている。

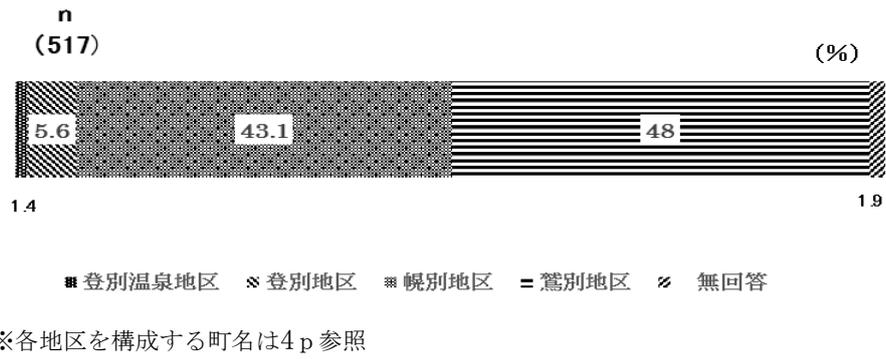


## 第3章 調査結果の詳細（小学生保護者）



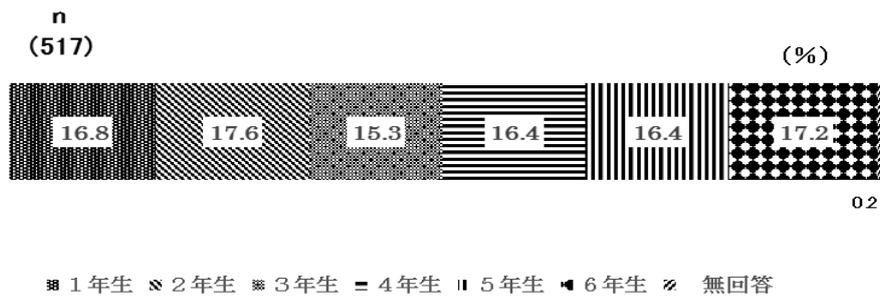
# 1. 基本属性

## (1) 居住地区



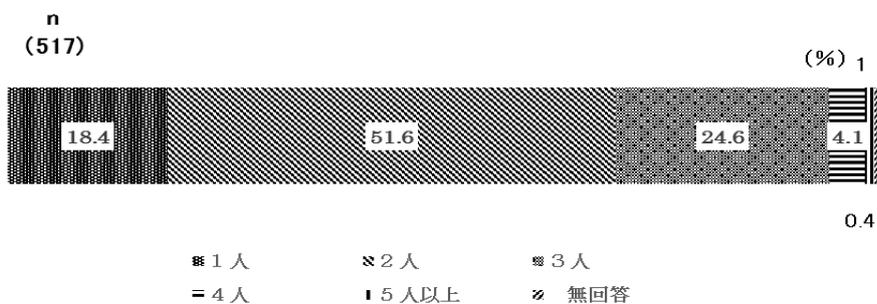
居住地域は、「鶯別地区」が48.0%、「幌別地区」が43.1%と4割台となっている。

## (2) 子どもの学年



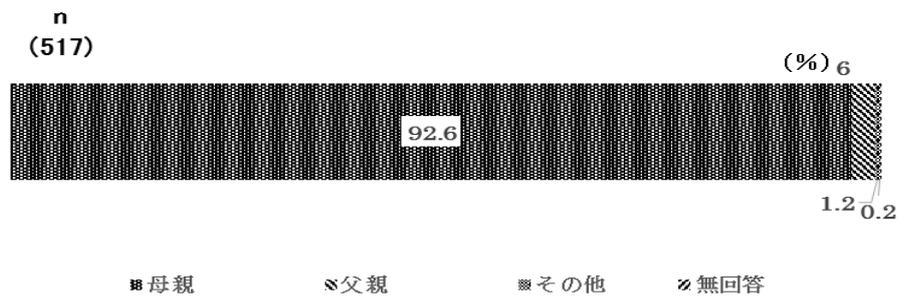
学年は、高学年（「4年生」～「6年生」）、低学年（「1年生」～「3年生」）ともに、1割台となっている。

## (3) 子どもの人数



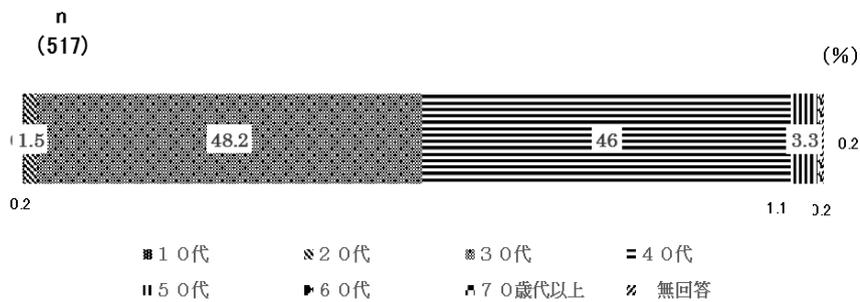
子どもの人数は、「2人」が51.6%と半数以上を占め、「3人」(20.4%)が2割台となっている。

(4) 調査票回答者



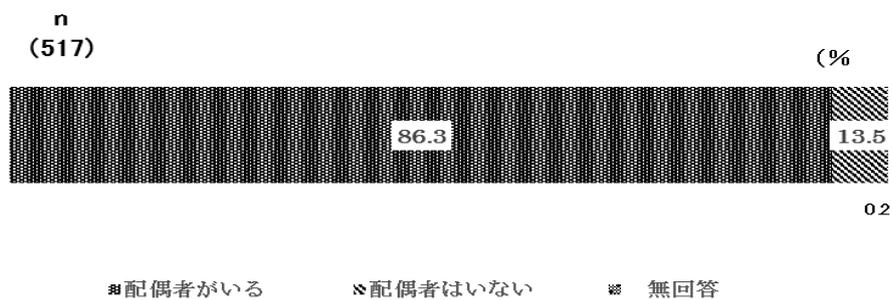
この調査への回答者は、「母親」が92.6%を占めている。

(5) 回答者の年代



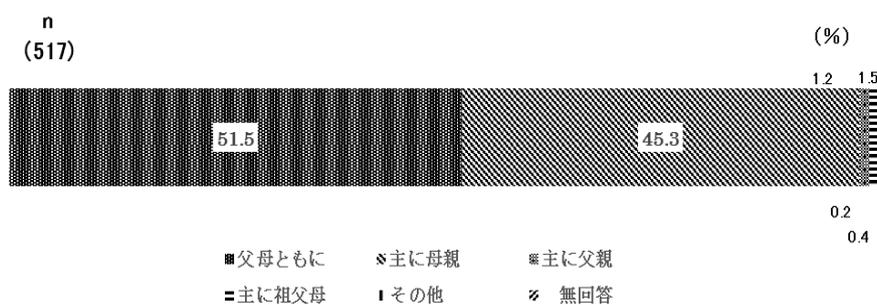
回答者の年代は「30代」が48.2%で最も多く、「40代」が46.0%で次いでいる。

(6) 回答者との配偶関係



回答者との配偶関係は、「配偶者がいる」が86.3%、「配偶者がいない」が13.5%となっている。

### (7) 子どもの身の回りの世話をを行う方



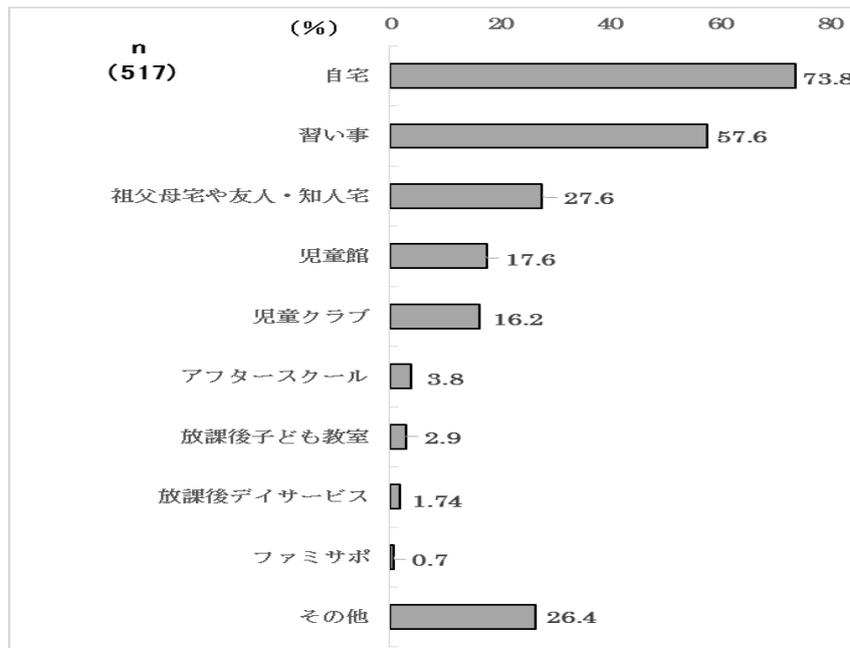
子どもの世話は、「父母ともに」が51.5%で最も多く、「主に母親」も45.3%と多くなっている。

## 2. 放課後の過ごし方

### (1) 放課後を過ごしている場所の現状と希望

問8 あて名のお子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます。お子さんは、放課後（平日の授業・クラブ活動など終了後）の時間をどのような場所で過ごされていますか。また、希望としてはどのような場所で過ごさせたいですか。現状と希望について、1週当たりの日数をお答えください。

#### 放課後を過ごす場所【複数選択可】



放課後の時間をどのような場所で過ごしているかでは、「自宅」が73.8%で最も多く、以下、「習い事（スポーツ、塾など）」（57.6%）、「祖父母宅や友人・知人宅」（27.6%）と続いている。

#### 1週当たりの日数【数字を記入】

	現状		希望	
	調査数	日/週	調査数	日/週
自宅	382	4	251	3
祖父母宅や友人・知人宅	143	2	107	2
習い事（スポーツ、塾など）	298	2	227	2
ファミリー・サポート・センター	4	3	4	2
児童館	91	3	93	3
放課後児童クラブ	84	4	50	3
・放課後児童クラブの利用希望（終了時間）	75	17時	47	17時
放課後子ども教室	29	2	20	2
その他（図書館、公園など）	137	2	157	2

放課後を過ごす場所の現状1週当たりの平均日数は、「自宅」と「放課後児童クラブ」が4日、「習い事（スポーツ、塾など）」と「児童館」が3日となっている。希望1週当たりの平均日数は、「自宅」と「放課後児童クラブ」が3日となっている。

### 3. 放課後児童クラブの利用希望

#### (1) 放課後児童クラブの利用希望

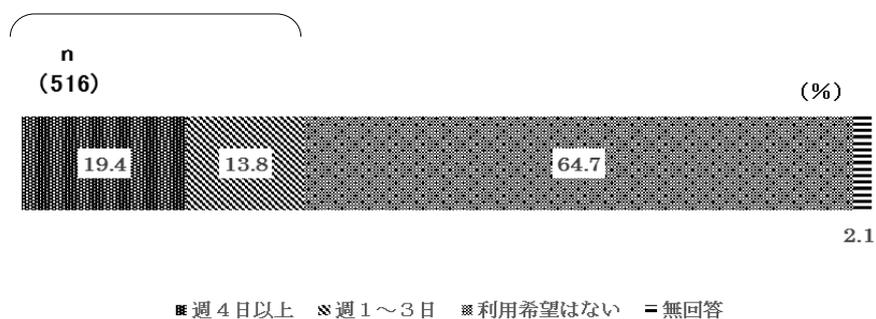
問10 現在利用している、していないにかかわらず、あて名のお子さんについて、平日、土曜日、日・祝日、長期休暇中（春・夏・冬休み）における、放課後児童クラブの利用希望の有無と利用したい時間帯をお答えください。

- ・放課後児童クラブは両親が共働きであるなど、家庭において子どもを保育することが困難な場合に利用でき、一定の利用料が発生します。利用したい時間帯の表記は、24時間制（例：8時00分～18時30分）でご記入ください。

#### 利用希望の有無【1つ選択】

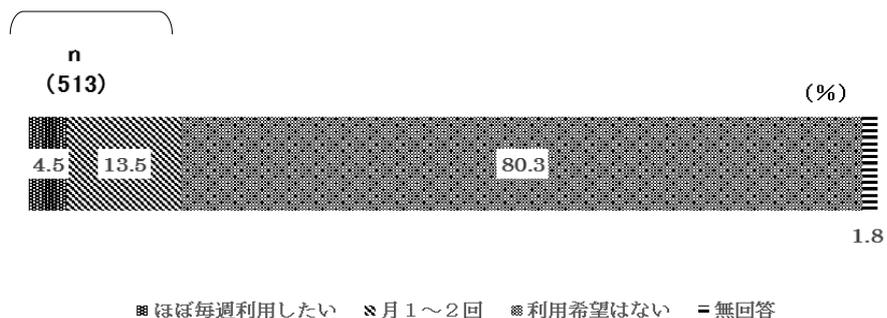
平日

《利用したい》



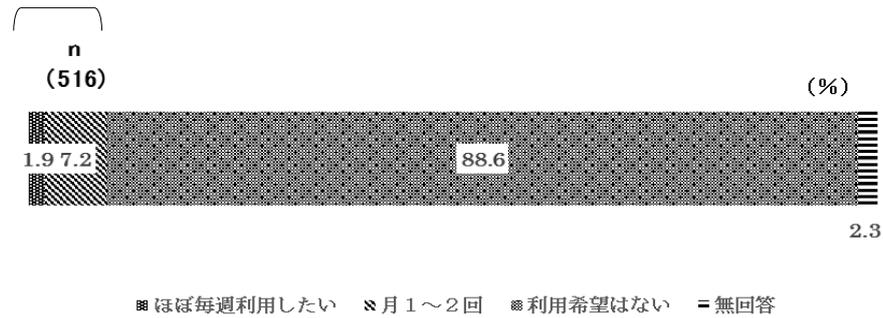
土曜日

《利用したい》



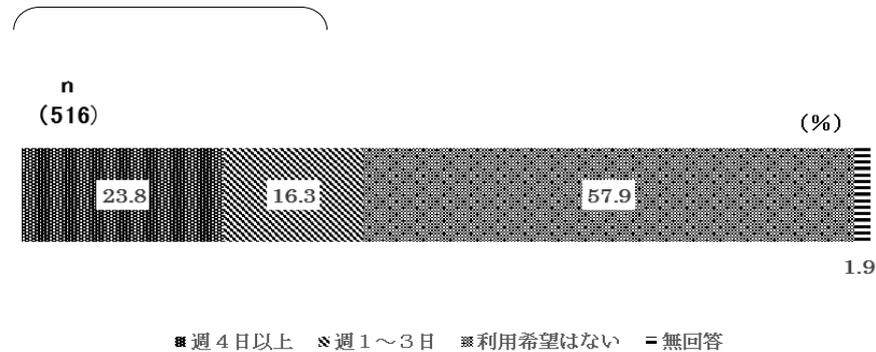
日・祝日

《利用したい》



長期休暇中 (春・夏・冬休み)

《利用したい》



現在の利用の有無に関わらず、放課後児童クラブの利用希望を聞いた。

平日では、「週4日以上利用したい」が19.4%、「週1~3日利用したい」が13.8%で、両者をあわせた《利用したい》は33.2%となっている。

土曜日は「ほぼ毎週利用したい」は4.5%にとどまるが、「月1~2回利用したい」は13.5%となっており、《利用したい》は18.0%となっている。

日・祝日の《利用したい》は9.1%となっており、土曜日や長期休暇中より利用希望は少ない。

長期休暇中では「週4日以上利用したい」は23.8%、「週1~3日利用したい」でも16.3%となっており、《利用したい》は40.1%と多くなっている。

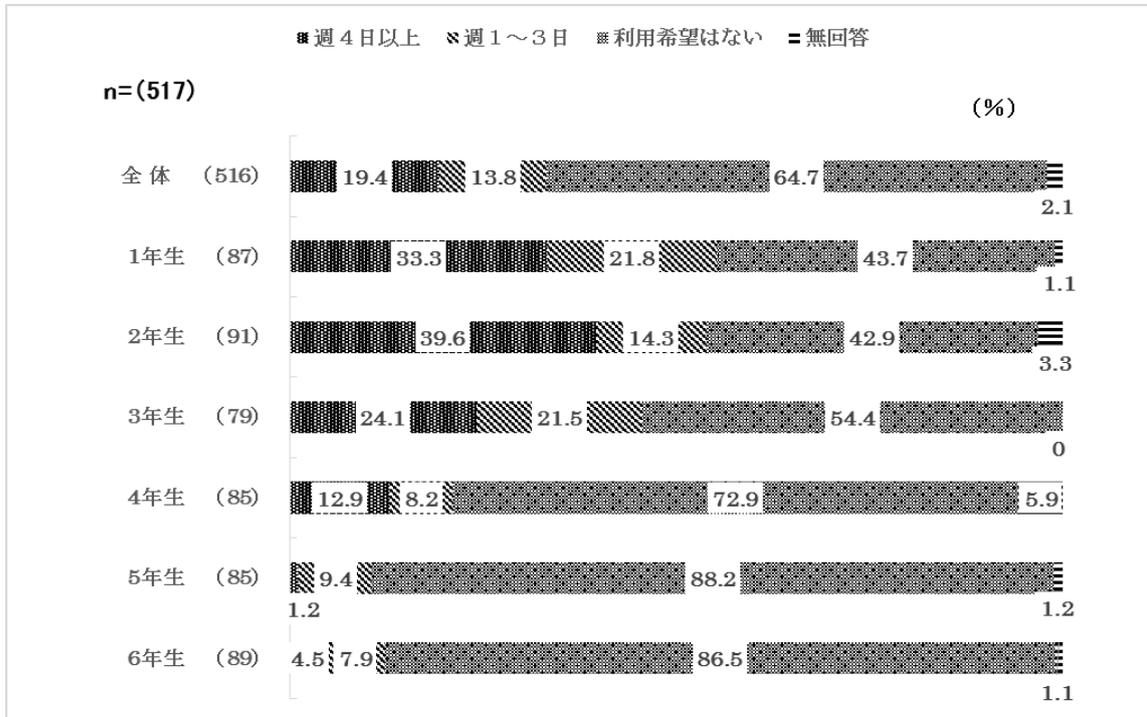
全体として、長期休暇中の利用希望が多くみられる。

学年別にみると、平日、土曜日、長期休暇中ではいずれも学年が低いほど《利用したい》が多くなっている。日・祝日は全体では利用希望は低めとなっているが、1年生(13.8%)や2年生(8.8%)での利用意向は比較的多くなっている。

学年別

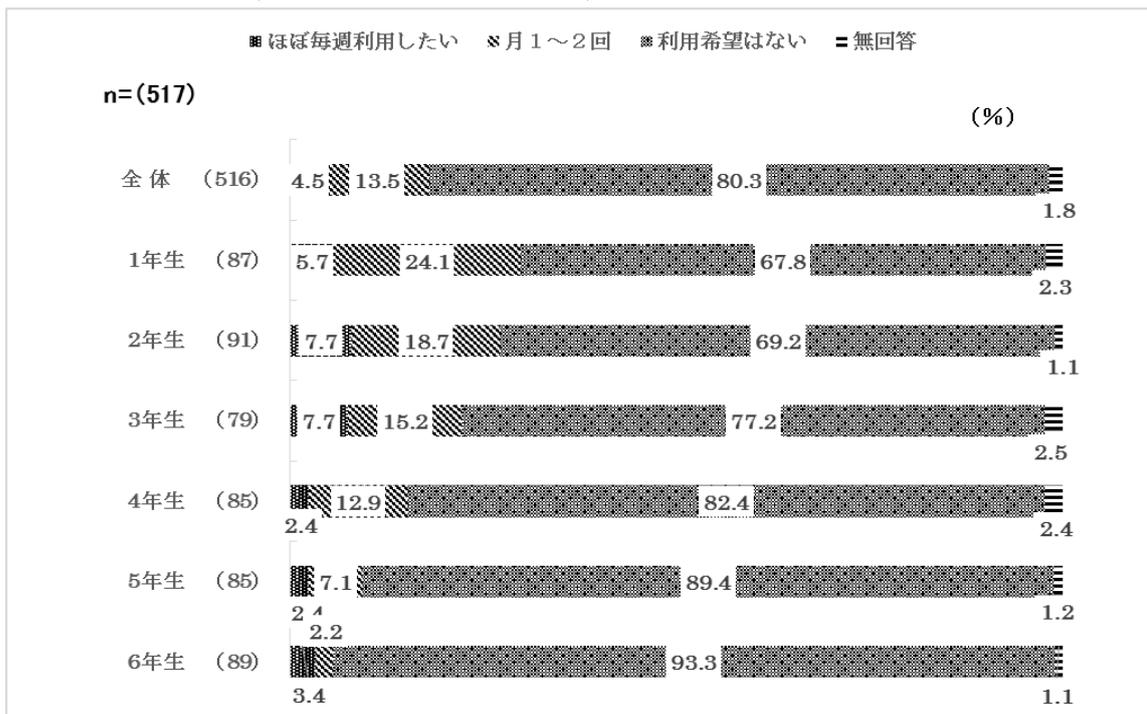
平日

《利用したい》



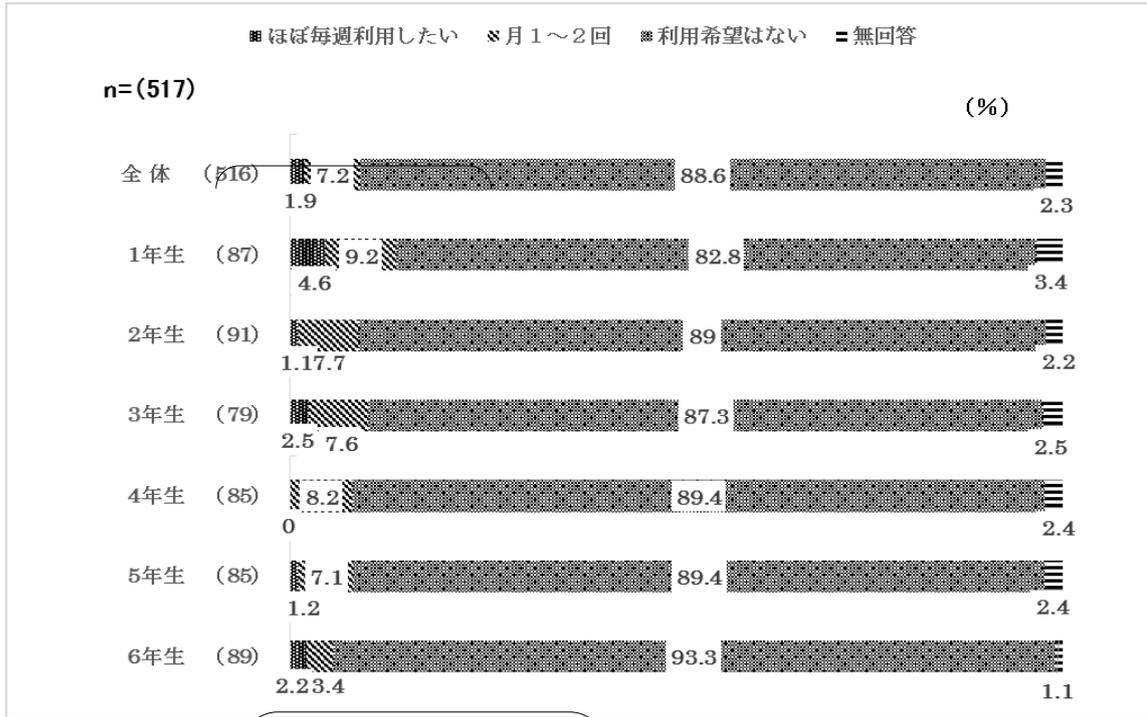
土曜日

《利用したい》



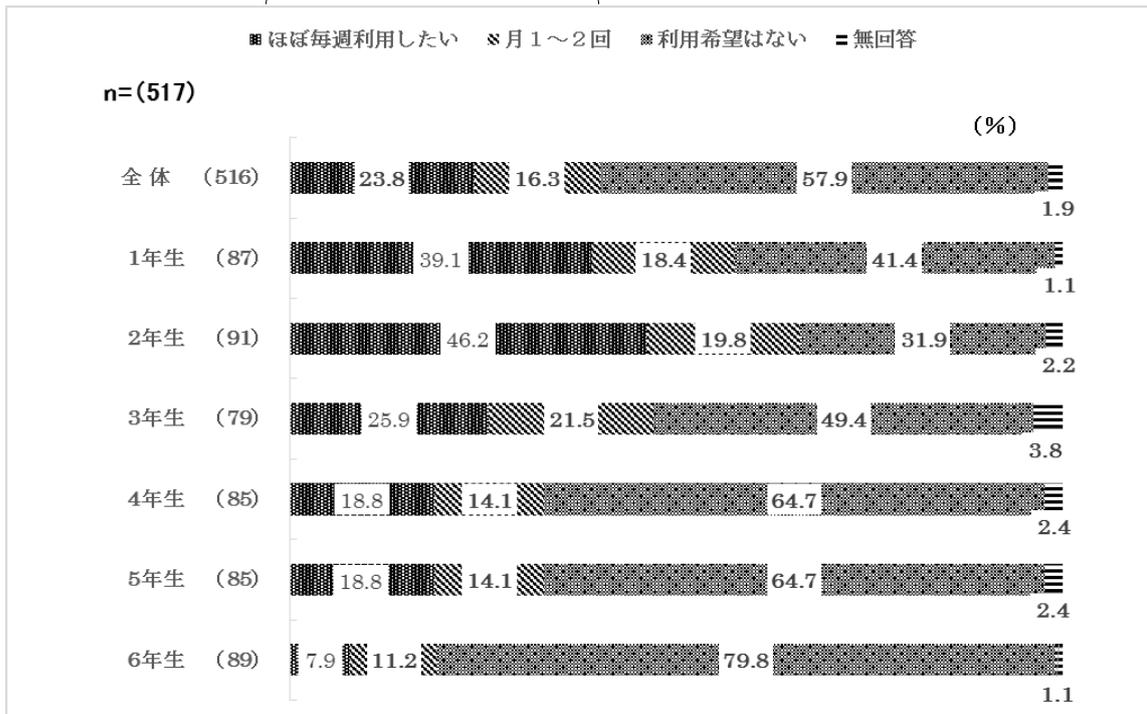
日・祝日

《利用したい》



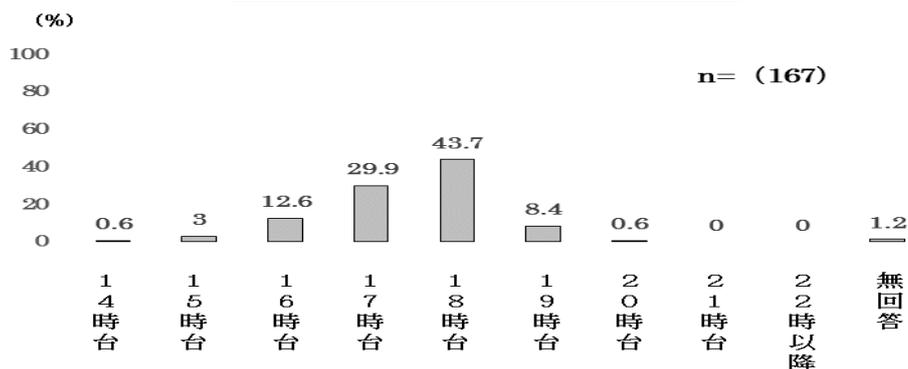
長期休暇中 (春・夏・冬休み)

《利用したい》

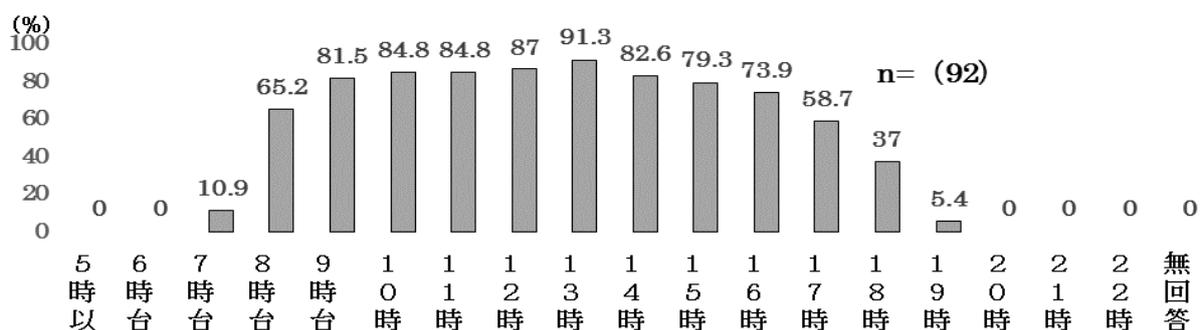


## 利用したい時間帯【数字を記入】－《利用したい》を選んだ方

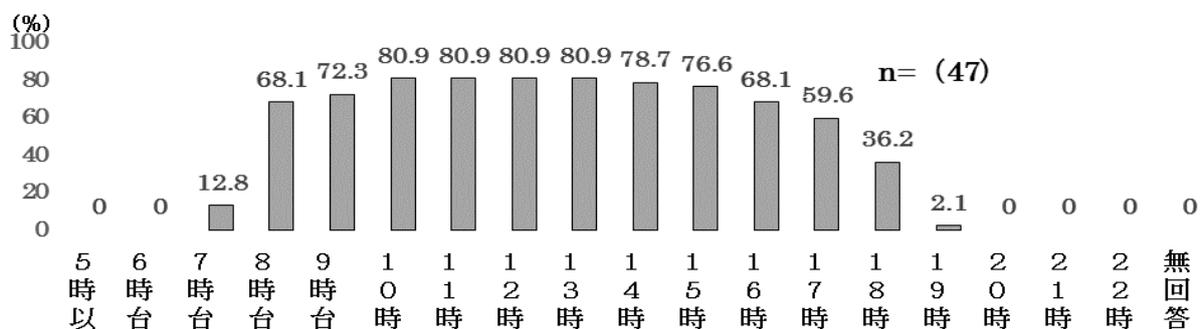
平日の利用したい時間帯（下校時から）



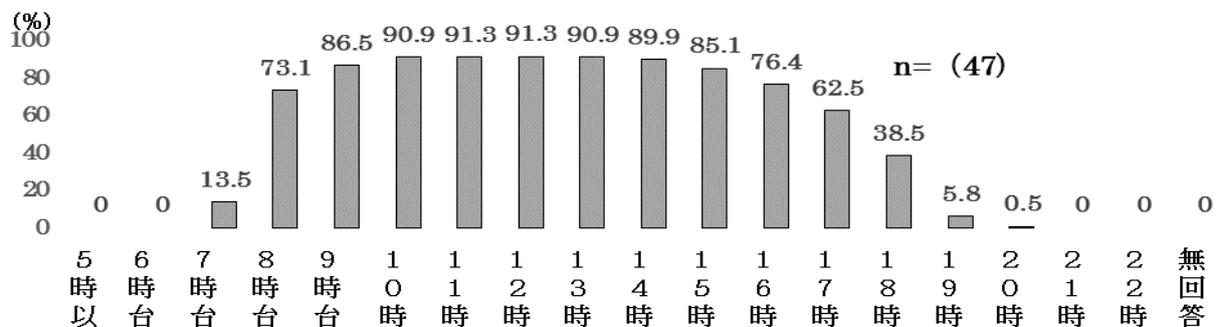
土曜日の利用したい時間帯



日・祝日の利用したい時間帯



長期休暇中（春・夏・冬休み）の利用したい時間帯



放課後児童クラブの利用したい時間帯を聞いた。

平日では下校時から18時台までが43.7%、17時台までが29.9%と多くなっている。

土曜日、日・祝日、長期休暇中（春・夏・冬休み）では、8時台から17時台の間の希望が多い。

#### 4. 宿泊を伴う一時預かり等の利用

##### (1) 家族以外に子どもをみてもらう必要性の発生状況（過去1年間）とその対応

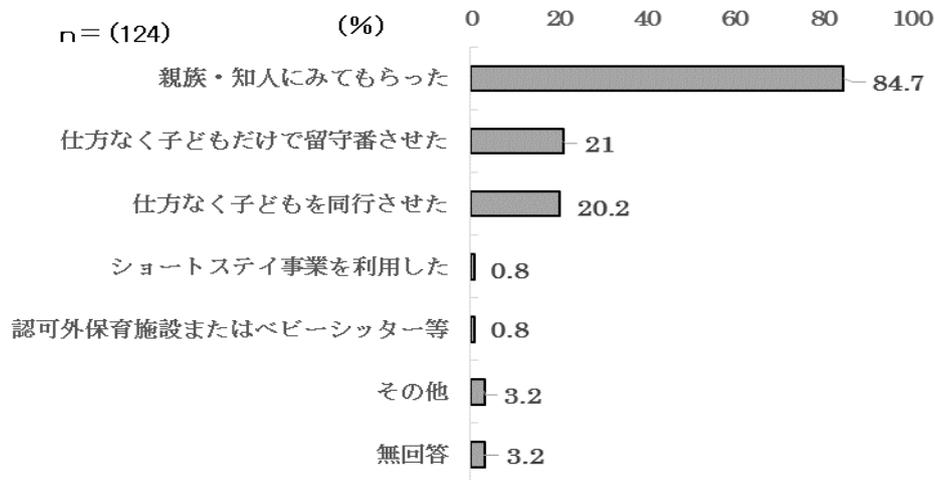
問11 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、家族の病気など）により、あて名のお子さんを日帰りまたは泊りがけで、家族以外に預けなければならないことはありましたか。あった場合には、「その際の対処法」を選択し、それぞれの日数をお答えください。

##### 発生状況【どちらか選択】



この1年間に、子どもを日帰りまたは泊りがけで、家族以外にみてもらわなければならないことが「あった」は24.0%、「なかった」は75.8%となっている。

##### その際の対処法【複数選択可】－（家族以外に預ける状況が）「あった」を選んだ方



その際の対処は、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が84.7%で最も多く、以下、「仕方なく子どもだけで留守番させた」(21.0%)、「仕方なく子どもを同行させた」(20.2%)が2割台で続いている。

年間利用日数【数字を記入】日帰り／泊りがけ

	日帰り		泊りがけ	
	調査数	日／年 (平均)	調査数	日／年 (平均)
(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	79	8	65	5
短期入所生活援助(ショートステイ)事業を利用した	1	10	—	—
認可外保育施設またはベビーシッター等を利用した	1	1	—	—
仕方なく子どもを同行させた	23	6	4	4
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	23	7	4	10
その他	3	41	2	7

日帰りにおける年間平均利用日数は、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が8日、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が7日、「仕方なく子どもを同行させた」が6日となっている。

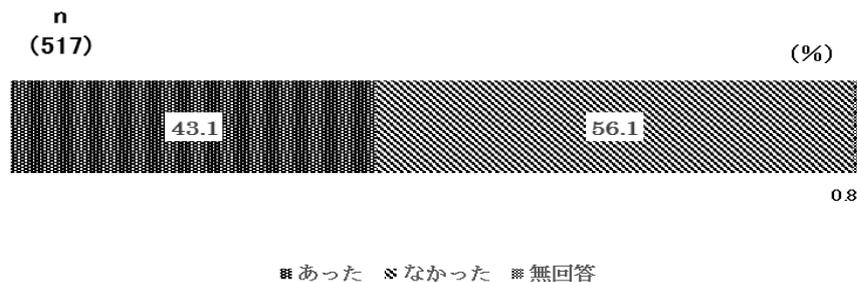
泊りがけの年間平均利用日数は、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が5日となっている。

## 5. 病気の際の対応

### (1) 病気等で小学校に通学できず特別な対応をとる必要性の発生状況

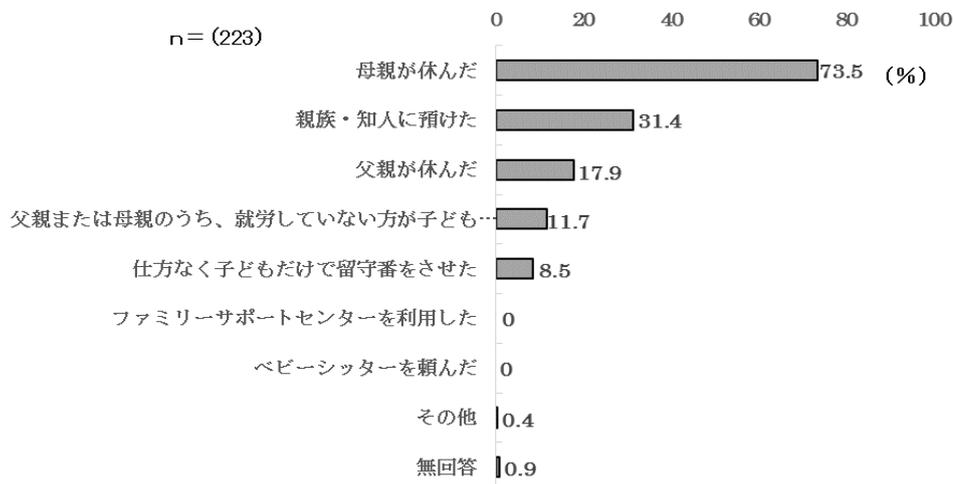
問12 あて名のお子さんについて、この1年間に病気やケガのために小学校に通うことができず、特別な対応をとる必要性がありましたか。必要性があった場合はこの「1年間の対処方法」を選択し、それぞれの利用日数をお答えください。(半日の場合も1日とカウントしてください。)

#### 必要性の有無【どちらか選択】



この1年間に病気やケガのために小学校に通うことができず、特別な対応をとる必要性が「あった」は43.1%、「なかった」は56.1%となっている。

#### 1年間の対処方法【複数選択可】－（特別な対応をとる必要性が）「あった」を選んだ方



その際の対処方法は、「母親が休んだ」が73.5%で最も多く、以下、「(同居者を含む) 親族・知人に預けた」(31.4%)、「父親が休んだ」(17.9%) などが続いている。

**年間利用日数【数字を記入】**

	調査数	日／年 (平均)
父親が休んだ	40	4
母親が休んだ	164	4
(同居者を含む) 親族・知人に預けた	70	5
父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	26	7
ベビーシッターを頼んだ	—	—
ファミリー・サポート・センターを利用した	—	—
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	19	4
その他	1	1

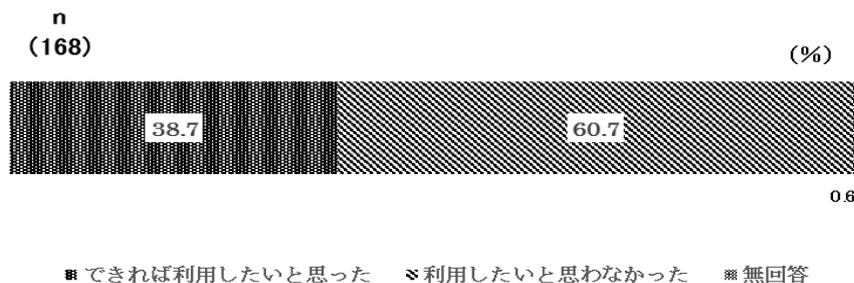
年間の平均利用日数は、「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」が7日、「(同居者を含む) 親族・知人に預けた」が5日、「母親が休んだ」、「父親が休んだ」、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」がそれぞれ4日となっている。

## (2) 病児・病後児保育事業の利用意向と希望

＜問12の「1年間の対処方法」で「父親が休んだ」または「母親が休んだ」を選んだ方にうかがいます。＞

問12-1 その際、できれば「病児・病後児保育事業」を利用したいと思われましたか。思われた場合は希望日数と利用したい事業をお答えください。  
なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

### 病気の際の意向【どちらか選択】



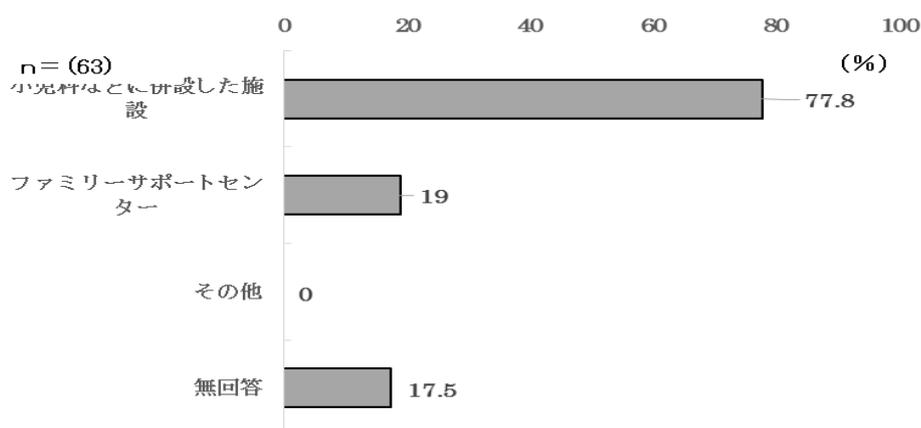
父親あるいは母親が休んで対処した際、病児・病後児保育を「できれば利用したいと思った」は38.7%、「利用したいとは思わなかった」は60.7%となっている。

### 希望日数【数字を記入】－「できれば利用したいと思った」を選んだ方

調査数	日／年 (平均)
63	5

病児・病後児保育を利用したいと思った方の希望平均日数は4日となっている。

### 利用したい事業【複数選択可】－「できれば利用したいと思った」を選んだ方



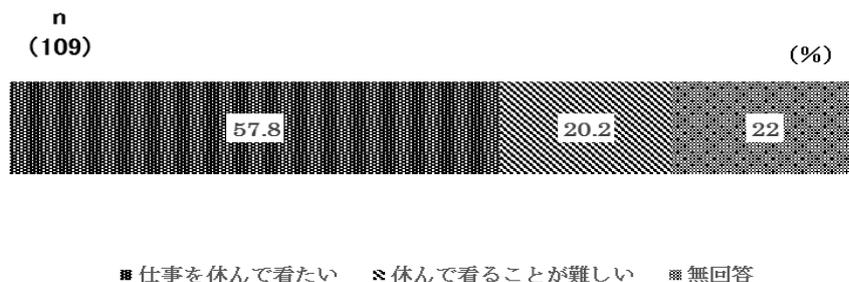
病児・病後児保育で利用したい事業は、「小児科などに併設した施設で子どもを預かる場所」が77.8%で最も多く、以下、「ファミリー・サポート・センター（住民が身近な場所で預かる事業）」（19.0%）と続いている。

### (3) 仕事を休んでの看病意向と希望日数

＜問12の「1年間の対処方法」で「父親が休んだ」あるいは「母親が休んだ」以外のいずれかを選んだ方にうかがいます。＞

問12-2 その際、できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思われましたか。思われた場合は「仕事を休んで看たい」日数をお答えください。

#### 希望の有無【どちらか選択】



父親あるいは母親が仕事を休んで子を見ることができなかつた際、仕事を休んで看たいと思つたかどうか聞いたところ、「仕事を休んで看たい」は57.8%、「休んで看ることが難しい」は20.2%となっている。

#### 希望日数【数字を記入】－「仕事を休んで看たい」を選んだ方

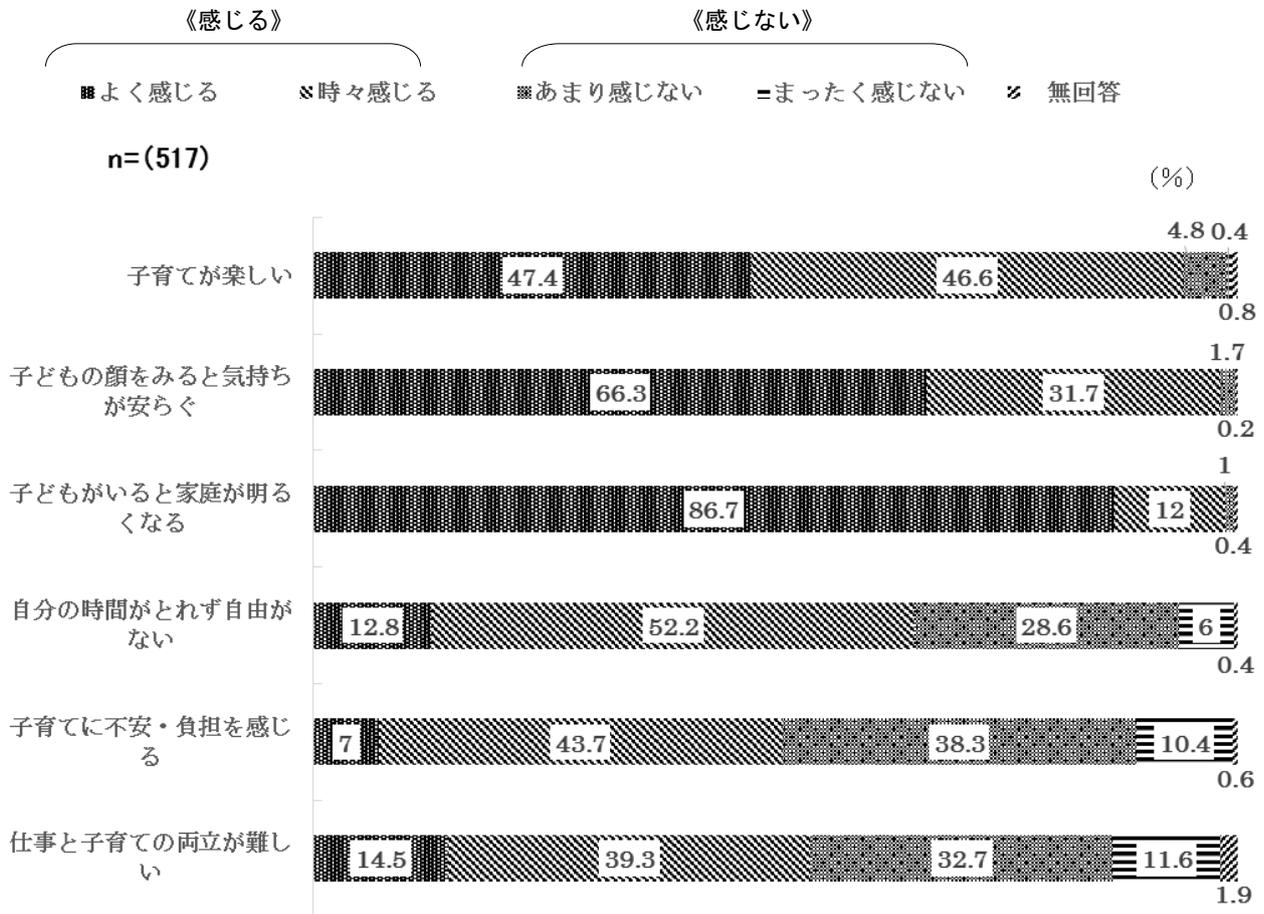
調査数	日／年 (平均)
325	5

仕事を休んで看たいと思つた方の希望平均日数は5日となっている。

## 6. 子育て支援全般

### (1) 子育てをされていて感じること

問13 子育てをされていて感じることはありますか。それぞれについて当てはまる番号1つに○をつけてください。

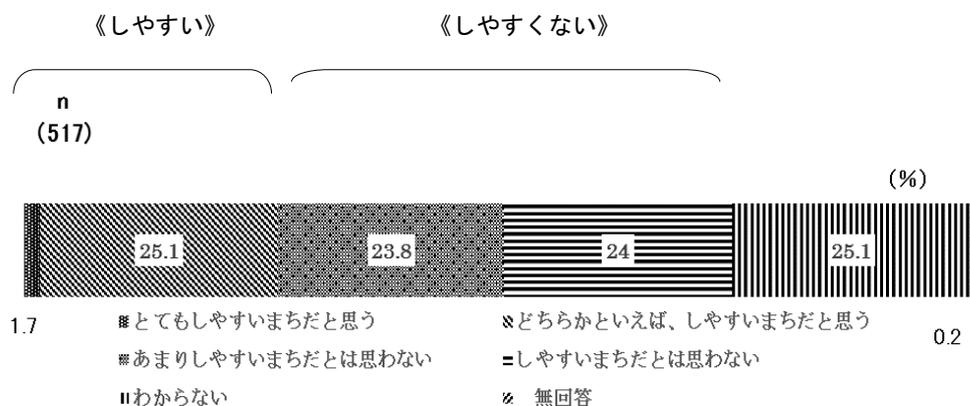


子育てをされていて感じることを聞いた。

「よく感じる」は“子どもがいると家庭が明るくなる”が86.7%と多く、“子どもの顔をみると気持ちが安らぐ”も66.3%と多くなっている。これに「時々感じる」をあわせた《感じる》でみると、“子どもがいると家庭が明るくなる” (98.7%)、“子どもの顔をみると気持ちが安らぐ” (98.0%)、“子育てが楽しい” (94.0%) といったプラス的な項目ではいずれも9割台を占めて多くなっている。一方、マイナス的な項目として《感じる》では、“自分の時間がとれず自由がない”が65.0%と多く、“子育てに不安・負担を感じる”や“仕事と子育ての両立が難しい”も5割前後となっている。

## (2) 市の子育てのしやすさとその理由

問14 登別市は子育てがしやすいまちだと思いますか。また、その理由についてご記入ください。(1つに○)



登別市が子育てしやすいまちかどうか聞いたところ、「とてもしやすいまちだと思う」は1.7%、「どちらかといえば、しやすいまちだと思う」は25.1%で、両者をあわせた《しやすい》は26.8%となっている。一方、「しやすいまちだとは思わない」は24.0%、「あまりしやすいまちだとは思わない」は23.8%で、両者をあわせた《しやすくない》は47.8%となっている。また、「わからない」も25.1%と比較的多くなっている。

### ◆ 《しやすい》と思う理由

しやすいと思う理由は、「施設やサービス、手当などが充実しているから」が20件と最も多い。以下、「遊び場（屋内外）や公園が多い／充実している」（10件）、「特に何か不便を感じることはないから」（7件）、「地域全体で見守ってくれるので危険が少ない」（6件）などがあげられている。

また、しやすいまちだと思うが「施設やサービス、手当・補助はもっと充実してほしい」という意見が9件、「遊び場や公園を充実してほしい」が6件あげられている。

### ◆ 《しやすくない》と思う理由

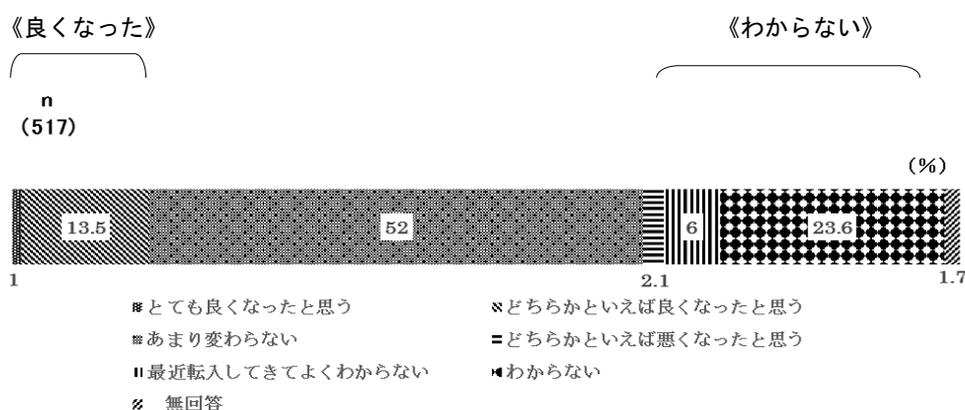
しやすいと思わない理由は、「遊び場（屋内外）や公園がない／充実していない」が86件で最も多く、以下、「放課後児童クラブ、放課後子ども教室がない／利用しにくい」（54件）、「施設やサービス、手当・補助が少ない／充実していない」（45件）、「医療費の負担が大きい」（25件）、「子どもを預ける場が不足している」（24件）などがあげられている。

### ◆ 「わからない」理由

わからない理由は、「他の自治体の子育て環境は知らないので、比較できない」が9件で最も多く、以下、「考えた事がない／子育てしやすいまちというもののイメージが不明」（7件）、「可もなく不可もなし／良い面もあれば悪い面もあるため」（3件）などがあげられている。

### (3) 以前と比較した市の子育て環境の改善状況とその理由

問15 以前(3～5年前)に比べ、登別市の子育て環境は良くなったと思いますか。また、その理由についてご記入ください。(1つに○)



以前(3～5年前)に比べ、登別市の子育て環境が良くなったかどうか聞いたところ、「とても良くなったと思う」は1.8%、「どちらかといえば良くなったと思う」は14.0%で、両者をあわせた《良くなった》は15.8%となっている。一方、「どちらかといえば悪くなったと思う」は1.8%と少なく、「あまり変わらない」(49.7%)が約半数を占めている。また、「最近転入してきてよくわからない」(5.2%)と「わからない」(26.4%)をあわせた《わからない》も31.6%と比較的多くなっている。

#### ◆《良くなった》と思う理由

良くなったと思う理由は、「各種施設やサービスが充実した」(14件)、「放課後児童クラブ、放課後子ども教室が充実した」(5件)、「遊び場(屋内外)が増えた/公園が整備された」(5件)、「預ける場所が増えた」(4件)などがあげられている。

#### ◆「あまり変わらない」と思う理由

あまり変わらない理由は、「変化を実感しない/改善したところが見当たらない」が58件と特に多く、「遊び場(屋内外)や公園がない」(5件)、「放課後児童クラブ、放課後子ども教室が利用しにくい」(4件)などがあげられている。

#### ◆「どちらかといえば悪くなったと思う」理由

どちらかといえば悪くなったと思う理由は、「近隣市町村と比べ優れたところがないように感じる」(4件)等があげられている。

#### ◆《わからない》理由

わからない理由は、「(転入して数年/子どもの環境が異なるため)以前と比較ができない」(11件)、「変化がないから」(3件)、「市のサービスや子育て環境を知らない」(2件)、「情報がなくわからない/わからなかったから」(1件)があげられている。

(4) 市に望む子育て支援策

問16 あなたが登別市に望む子育て支援策はありますか。ある場合は該当する番号5つまでに○をつけてください。



登別市に望む子育て支援策は、「医療費の免除拡大」が68.1%で最も多く、以下、「休日・雨天時の活動施設」(55.9%)、「子育て世帯への生活品の割引・優遇措置等」(43.3%)、「病院の充実」(29.2%)、「児童館の整備」(24.4%)、「幼稚園・保育所の無償化」(22.4%)が続いている。

居住地区別に上位5位をみると、「医療費の免除拡大」、「休日の雨天時の活動施設」、「子育て世帯への生活品の割引・優遇措置等」はすべての地区で上位にあげられている。また、登別地区、幌別地区、鷺別地区では「児童館の整備」、登別温泉地区、登別地区、鷺別地区では「幼稚園・保育所の無償化」があげられている。

居住地区別（上位5位表）

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体 n=517	医療費の免除拡大 68.1	休日・雨天時の活動施設 55.9	子育て世帯への生活品の割引・優遇措置等 43.3	病院の充実 29.2	児童館の整備 24.4
登別温泉地区 n=6	休日・雨天時の活動施設／ 幼稚園・保育所の無償化／ 子育て世帯への生活品の割引・優遇措置等 50.0			医療費の免除拡大／ 病院の充実／ 保育所・幼稚園での一時預かり 33.3	
登別地区 n=29	医療費の免除拡大 69.0	休日・雨天時の活動施設 58.6	子育て世帯への生活品の割引・優遇措置等 48.3	児童館の整備 37.9	幼稚園・保育所の無償化 27.6
幌別地区 n=225	医療費の免除拡大 69.3	休日・雨天時の活動施設 57.3	子育て世帯への生活品の割引・優遇措置等 45.3	病院の充実 34.7	児童館の整備 19.1
鷺別地区 n=247	医療費の免除拡大 67.2	休日・雨天時の活動施設 55.1	子育て世帯への生活品の割引・優遇措置等 40.9	児童館の整備 27.9	幼稚園・保育所の無償化 25.1

## (5) 子育て支援に関する意見・要望（自由記述）

問17 最後に、子育て支援に関してご意見・ご要望がございましたら、ご自由にご記入ください。

子育て支援に関して意見や要望を自由に記述していただいたところ、218件の記入があった。以下は、分類ごとに意見を抽出して掲載したものである。1人で複数の内容にわたって記述されている場合もあるため、件数は延べ件数となり、同様の意見はまとめて掲載している。

**なお、掲載している意見は原文のまま載せており、実際の制度等とは認識が異なる場合がある。**

### 子どもが安全に身体を動かしたり集えたりする場の確保（65件）

- ・雨天時でも子どもが楽しく過ごせるような施設がほしい。川上公園などで水遊びができるようになれば楽しいと思います。
- ・他市の施設を利用することが多いため、登別にも子どもが安心・安全な場所で遊べる施設や親子で楽しめる場所がほしいです。
- ・登別は公園が中途半端だと思います。川上公園にしても広さはあっても遊具が少なすぎますし、雨の日に子どもが遊ぶところが無いので困ります。テーマパークなども1回行けば2回目は行きたくない所ばかりなので違う土地に遊びに行ってしまう。せめて公園くらいはなんとかして欲しいです。
- ・旭川のカムイの杜公園のように小さな子から大きな子どもまで楽しめるような大型遊具のある公園を是非作って欲しいです。金銭的な負担の軽減も必要なのかもしれませんが子どもの成長に繋がる体験が出来る場も、親目線ではなく子ども目線で重要なのではないかと思います
- ・子育て支援とは少しずれているかもしれませんが、ボールを使える公園を探すのが大変です。どこも看板にボール禁止と書かれており、遠くの公園まで行くので、もっとボールを使える場所があればいいなと思います。
- ・休日で総合体育館へ子どもとスポーツをしようと思いい利用しに行くがいつも使えない状況。小学生なのに夜間なら使えるとのこと。結局市外の施設を利用しに行くことになります。

### 放課後児童クラブ、放課後子ども教室（45件）

- ・放課後子ども教室を各学校に作ってほしいです。
- ・学級閉鎖や臨時休校になると児童クラブが利用できないが、親に仕事があると子どもが1人で留守番をすることになってしまいます。
- ・放課後児童クラブについて、私（母親）が仕事をしており、小学校の下校時間に間に合うように仕事を終わらせて帰宅するようにしていますが、月に2～3回だけ間に合うかどうか、ギリギリになる日があります。児童クラブは月に2～3回だけの利用というシステムがないようです。毎日びっちり利用していないけど、月に何回かだけ利用できるような回数券みたいなシステム（1回につきいくら）があると助かると思う事がよくあります。
- ・児童クラブの月謝が室蘭の10倍ということに疑問がある。子どもが2人いるので、月14,000円（負担金12,000円+おやつ代2,000円）もかかってしまうため、仕事をしていても給料が児童クラブ代で消えてしまうことを考えると、なかなか仕事に復帰できない。児童クラブ代が高すぎて預けられず、小学1・2年生から1人で留守番させる親もいると聞いている。子どもの安全や共働き家庭のため児童クラブを利用しやすくなるよう検討してほしい。子育てしづらいまちと感じずにはいられない現状を理解してほしいです。
- ・放課後児童クラブの料金が高すぎる。(30件)

- ・室蘭では児童クラブに「長期休暇のみ」というのを最初から選択できるようになっています。登別では春、夏、冬休み毎に書類を出し直さなければそういった利用が出来ないと聞いています。ムダな事務処理を減らすためにも室蘭にならっていただきたい。(平日は預けなくても大丈夫な時間に帰宅できるが長期休みだと朝から1日留守番は難しい。かといって、児童館だと9時からなので朝一人で鍵をかけて家を出なければならぬので児童クラブを長期休暇のみ利用したいのです) こういう家庭は多いと思います。月6,000円も払っているのですからもう少し利便性を良く。児童クラブがなくて困っている小学校があると聞きました。自分で学校から近くのクラブまでの迎えを手配するとか? そんなんで、子育て環境良いと思いますか。

### 医療・保健・健(検)診(32件)

- ・医療費免除を拡大してくれると大変助かる。子育て支援に力を入れるのもよいが、老後の安定に力を入れた方がよいのではないかと思う。老後が不安だと子どもを産み育てていくことをためらってしまうと思います。
- ・検診等でしんた21まで行くのが遠いです。
- ・医療費の免除を受けられるか所得に応じて決まっているが、子どもは平等のはずなので、全く受けることができない世帯があるのはおかしいです。
- ・小学生はまだまだ病院に行くことが多く、大人と同じだけ金額を取られ辛いです。無償化が大変なら少しでも負担いただだけでもありがたいことです。
- ・インフルエンザの予防接種の無料化または学校が感染源となることが多いので小・中学校での接種。乳幼児の医療費控除を小・中学生まで拡大してほしいです。

### 児童館(28件)

- ・もっと児童館を増やしてほしい。冬休み中でも遊べる場所を作ってほしいです。
- ・幌別西小学校区に直接来館できる児童館がほしいです。
- ・児童館に時々行きますが建物の老朽化、遊具が古い、壊れているものが多く、子どもたちが満足に遊べるように支援してほしい。子どもたちの性格は様々でアクティブなことが好きな子、落ち着いてゆっくり遊びたい子、いろいろなのである程度のスペースが必要。現状では狭すぎる。あと、子どもの多様性を受け入れる教育体制になってほしい。インクルーシブ教育をどんどん進めてほしい。地域で格差がありすぎです。登別に住んで良かったと子どもを持つ全ての保護者が思えるように早急に対応してほしいと思います。
- ・第1子の時には児童館の直接来館がなかったので羨ましかった。これから小学校に通う子ども達のために、ぜひ継続してほしいです。
- ・富岸小学校付近に児童館、放課後子ども教室などが何も無いので、何か歩いて行ける場所を作ってほしいです。
- ・常盤児童館の周辺は山陰で非常に暗くて児童だけの行き帰りは安全面で、非常に不安を感じているので早急に対応を望む。児童館の周辺に街灯をかなり増やすこと、児童館そのものが古く、立て替えて児童が過ごしやすくしてほしいです。

### 保育所・幼稚園(25件)

- ・保育所は37.5度以上あると預けられないが、発熱していても病院を受診していること等を条件に利用を許可できるようにしてほしいです。
- ・一時預かりの施設を増やしてほしい。保育所等の手続き方法の周知を図ってほしい。保育所に直接連絡しても市役所での手続きが完了していないと預かってもらえないことや、預かりの理由を設定すると、それ以外で預かってもらえない等、融通に欠けるので改善してほしいです。

す。

- ・所得が良いからと保育料が高額なのはおかしい。頑張っているのに意味が無い。その上、ティッシュ、ウェットティッシュ、おむつを持っていかなければならないのが不満。同じ子どもで同じ待遇で一緒なのに金だけ取られます。
- ・産前産後保育が産後8週までなのは短すぎる。3子目を出産予定だが、保育所利用中の子は幼稚園の空きがなく、保育所を利用し続けるには産後2ヶ月の体で体力仕事に復帰しなければならない。近くに子どもの面倒を見てくれる親族がいないため、割高のファミサポを利用する他なく、体も金銭面でも大変。少子化に貢献しているのに登別市は協力的ではないと思うし、このままでは兄弟を増やす気にならないです。
- ・保育所での生活内容がよく分からなかったので、参観日などの行事があると嬉しいです。
- ・保育に携わる方や登別市に恩返しがしたいです。ありがとうございます。

### 教育、学校・給食（25件）

- ・美園町6丁目を永久に水元小学校東明中学校の学校区にして欲しい。近所同士の子どもが最近美園に転入してきた、子は水元に通えないためにタクシーで若草小に通っている姿を見て不思議に思う。現実的に数年間とはいえその光景がおかしい感じがする。将来を考えて美園6は今年配者が多いので過疎化してしまう子育て世代が住むには学校問題で不便だと思う。自分の子どもが将来結婚し子どもができ親のそばに住みたいとなってもここには住めないです。
- ・学校給食がアレルギーに対応していない。対象者が増えている中、現状に合った対応ができていないと思います。
- ・小学校が土曜授業を実施しているが成果があるか疑問で、土曜授業はなくてもよいのではと思います。
- ・学校給食の量が少ないため、おなかを空かせて帰宅してくる。毎朝おやつ代わりのおにぎりを作るのが大変。給食の量を増やしてほしいです。
- ・スポーツをする環境が整っていないと感じる。少年団に入っても中学校には部活がないため競技を続けることができない。教師の業務軽減や生徒減少はわかるので、校区をまたいで部活動ができる環境作りをしてほしいです。

### 子育て全般（22件）

- ・登別市は子育て世帯に全く優しくないといます。子育ては思いのほかたくさんお金がかかります。そして大変です。これでは子どもが増えないですね。医療費を無料にしたり、割引・優遇措置は今すぐ実行してほしいです。
- ・登別市には中小企業が多く低所得者が多いので、子育て家庭への支援拡充をしなければ子どもを産みたいと思わないと思う。他の自治体で実施している政策を参考にしてほしい。・スポーツに対する支援や施設が少なすぎ、市内で盛んなスポーツがないと思います。
- ・子育て支援の年齢の幅を広げてほしい。中学生など塾になかなか通うことが出来ない子への場所の提供など。室蘭でやっているような感じ。その他、支援を必要とする子（発達や身体で支援が必要）な子は、スポーツの団体になかなか参加することが難しいため、運動することも少なく、経験させることも出来ない子は多くいるので、そのような子へのスポーツクラブがあるといいと思います。
- ・0歳～3歳児を持つ母親の精神面のフォローが厚くなると助かると思う。事前予約なしで数時間だけ子どもを預けられ、リフレッシュできる場所が身近にあると母親は助かると思います。

### 行政施策、子育てサービス・施設（16件）

- ・私が知っている子育て支援は、仕事をしている時間には行けない時間帯に設定されているも

のが多く、講演会や子育て広場等興味があっても行きません。(平日朝から夕方まで働いているので)市のやり方一つでいろいろな事業に参加してみようという気持ちになると思うので、是非様々な視点で企画していただけたらと思います。特に、私の娘たちは全員アレルギーがあるので、母親(自分)と祖母(母)しか娘たちの食事を用意することができず、自分と母に何かあったときに不安になります。

- ・施設の老朽化、子どもの減少が進み、他の市町村では学校統合が進んでも登別市に関しては新しい施設ができる気配がない。ようやく消防署や市役所の建て替えがきまったようだが、市が教育や子育てにお金をかけるのは先になるイメージしかない。子育て世代は共働きが多くなったので、サポートしてくれる体制をもっと広範囲で実施してもらえるといいと思います。
- ・人口増加のためにも魅力ある子育て支援がもっとあれば、市外から若い世代の流入が増えると思う。登別市に住むメリットをアピールできるものがないような気がする。現在、在住している人を含め、高齢者ばかり優遇するのではなく全ての人が幸福感を感じられる市政をお願いします。子どもの年齢ごとにお金がかかることはあり、以外と小・中学生もかかるので、未就学児だけでなく、中学生まで幅を広げた支援を行ってほしいです。
- ・現在行われている通学学習「のぼりべつ・こども村」はとても良い事業だが年2回しかないし、一度行ったらほぼ次は行けない状況なので回数を増やして欲しい。一泊二日では学べない四泊五日という長期間に意味を感じているので関係者の方はとても大変だとは思いますが、増回の検討をしてほしいと思います。
- ・室蘭市と比べても、子育てに優しい環境とは言えない登別市。もう少し子育てに支援をしてもらいたいです

#### 防犯・交通安全(12件)

- ・夜に歩いていると暗いと感じるため、道路に街灯がほしい。今後、子どもが中高生になり、帰宅が遅くなることを考えると不安を感じます。
- ・歩道が狭いので自転車や歩行者が危ないと思う。事故が起きてからでは遅いので、安全面に配慮してほしいです。
- ・スマホ等を通して子どもが犯罪に巻き込まれるか不安なため、親子で勉強できる教室を開いてほしいです。

#### 障がい児、ひとり親家庭(11件)

- ・子どもの成長過程に大事な時期を家族で温かく見守り子どもの成長を楽しむため、育児休業支援などを充実させてほしい。発達障害の診断ができる医療施設をつくってもらいたい。子育てに不安や悩みがある時、気軽にメールやSNSで相談できるようにすると思う。父親にも子育てを一緒にしてもらおうため、特に休暇が取りにくい中小企業の理解を進める支援をお願いしたい(行事が土日でも休めず、父親不在の多くて子どもが可哀想)。放課後デイサービスを充実させてほしいです。
- ・発達障がい児の中学校・高校に向けた支援の拡充をお願いします。
- ・母子家庭に対する支援はある程度整っていると思うが、父子家庭に対する支援をもう少し拡充してほしいです。

#### 情報・相談・窓口(9件)

- ・子どもが不登校になった時、市の対応が不親切だった。相談できる相手が少なく、当事者もその家族も孤立してしまい、改善につながらないと思う。今後も不登校はあると思うので対策を考えてほしい。不登校や障がい児にも優しい子育て支援を望みます。
- ・乳幼児期は子育て支援センターで子育てについて相談できていたが小学生になると相談する

ところが学校の先生しかいないので、気軽に相談できる場所があると嬉しい。場所というよりは、セミナーが開催される方が良いかも。例えば「小学校低学年向け」「小学校高学年向け」「中学生向け」など学年別の子どもとの接し方、声かけの仕方など知る機会があると良いです。学校の先生方の就業時間内にお電話をして相談するのが時間的に難しいので。

- ・休日の当番医がHPに出ていないため、わかりやすく発表してほしい。その他にも細かい情報の発信が他の自治体に比べて全くと違っていいほどないと感じます。

#### 経済的支援（手当・助成）（9件）

- ・子どもの体力・運動能力の向上に関連する公共施設（総合体育館、プール）や、三来馬スキー場などの利用について助成してほしい。スキー場はリフト代が高く、雪が少なくシーズンが短いのに回数を制限してしまう。スキー場の帰りに登別温泉やカルルス温泉を利用しやすいよう、他部署と連携を図り、子育てと登別市の活性化を期待しています。
- ・父母で共働きをしても限界があり、子どもが多い家庭では教育費が多くかかる。高校に行くにも徒歩圏内には高校がなく定期代だけで一人3万円ほどかかる。年子なので6万になる。15歳で児童手当もなくなり1番お金のかかる時期に何の補助もない。児童手当は4ヶ月に1回ではなく18歳や15歳等お金がかかる時期まで積み立てが出来るようにすると良いと思う。もう少し補助が出ると有り難いと思います。

#### 図書館や文化施設（7件）

- ・図書館がもっと落ち着いた明るい場所であってほしい。大人と子ども図書フロアが別れているため、利用しにくく感じます。大人が読書をする姿を見せないと、子どもも本は読まないと思うので読書スペースを必ず通り児童フロアへ行くなどの配置を見直すべきだと思います。
- ・室蘭市は公共施設が子どもは無料です。（プールや科学館など）登別市は無料にできないのか。

#### ファミリー・サポート・センター事業（6件）

- ・ファミリーサポートを利用させていただくまでは保育所や児童クラブへの迎えが時間を大幅に過ぎてしまい先生方にご迷惑をおかけするばかりで仕事を続けていることに先生方や祖父母、何より子ども達に負担をかけ、うしろめたい思いや情けなさ親としての責任を果たせていない・等悩むことが多く子育てに対して充実感より負担感しか感じなく苦しみました。サポートさんをお願いすることすら、他人任せと周囲に思われてしまうと思いましたがサポートさんをお願いすることになり半年経過し、大変有り難く感謝しかありません。今は仕事も子育ても毎日充実感があります。
- ・ファミリーサポートが利用しづらいです（予約、料金の支払い方法、料金が安い）。

#### 就労、企業・事業所（5件）

- ・働く母親にとって一番困ることは子どもが体調不良の時です。小学生くらいになると子育てサポートでも対応出来ますが未就学児が体調不良で知らない人に預けるということは難しい。なので、各保育所で慣れている人場所で見てもらいたい。勤務先を変えたくても必ず「子どもが病気の時は？」と聞かれますが子どもが病気の時くらい仕事を休んでそばにいてあげたいです。（本音は）ですが、子どもの生活のためと思うと休めず仕事へ・・・母子家庭では本当に困ります。

#### 行事・イベント（5件）

- ・週末、祝日などに子どもが気軽に行けるイベントがもっとあったら良いと思う。

- ・夏休みや冬休みの長期休業中に、子ども達が自由に参加できるイベントや勉強会が学区内や学校であればいいと思う。子どもに留守番させることが多いので、子ども達が自分の足で行けるところで自主的に参加できるイベントがあるといいと思います。

#### **地域・交流（4件）**

- ・核家族化が進み、ちょっとしたことすら相談することができず、私を含め孤独感を感じながら子育てをしている母親は増えていると思います。登別にはお年寄りが多いので、人生経験、子育て経験があるそういう方たちとお話しできる機会があったり、交流したりすることによって子育て世帯と高齢者お互いにつながり足りないものを補える、そんな仕組みがあるといいなと思います。
- ・以前は鉄南地区に住んでおり、ゆめみーるで働いている、ご高齢の方々が放課後支援をされて本当に助かりました。他の地区でもこの様な活動が増えてくると地域がより活性化していくと思います。

#### **住環境や交通網の整備（3件）**

- ・義務教育で学区内に通学している中学生のバス代も補助してもらえないのはびっくりしました。バスカードだってバス代かかっているのです。バスが混んでいて乗れないと子どもが言っています。スクールバス出してください。本気で子どもたちのために努力してほしいと思います。

#### **今回のアンケート調査（3件）**

- ・子育てに関する取組をいろいろ試している感じがします。（このアンケートのように）でも、このアンケート結果がどう生かされているのかよくみえて来ないように、それぞれの取組が総合的に結びついて大きな成果として感じられません。調査・集計のみで終わらないことを希望します。

#### **その他（7件）**

## 第4章 調査票



# 登別市子ども・子育て支援に関するニース調査

## 小学生用



登別市観光PRキャラクター 「登夢（とむ）くん」

このアンケート結果は、これからの  
登別の子育て支援に活かされます！！

### 調査ご協力をお願い

日頃より、登別市のまちづくりにご理解とご協力をたまわり、誠にありがとうございます。

登別市では、平成27年度に、子ども・子育て支援法に規定する「子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子育て支援を行っております。今回、2020年度（平成32年度）から2024年度までの5か年を計画期間とする「第二期子ども・子育て支援事業計画」を作成します。

この調査は、市内にお住まいの小学生（平成19年4月2日～平成25年4月1日生まれ）を持つ1,200世帯の保護者の方に、皆様が教育・保育について日頃お考えになっていることや、子育てに関する支援サービスの利用状況や今後のご希望などをお伺いし、計画に反映させることを目的に実施いたします。

ご回答いただいた内容は、市や国、北海道の「子ども・子育て支援事業計画」の検討にのみ利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他にもれたり、他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

つきましては、ご多忙のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成31年4月吉日

登別市長 小笠原 春一

### 【 記入にあたってのお願い 】

- 質問項目の「あて名のお子さん～」とは、封筒のあて名のお子さんになります。
- 設問や選択肢の\*マークについては、別紙「用語説明」をごらんください。
- 時間（時刻）をご記入いただく場合は、24時間制（例：午後6時は18時）でご記入ください。

ご回答いただくうえでご不明な点、調査に関するお問い合わせは、次までお願いいたします。

登別市 保健福祉部 こども家庭グループ

電話：0143-84-1223

担当：熊谷・村田

ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返送用封筒に入れて封をし、

**5月10日（金）までにご投函ください。**



## 2. 放課後の過ごし方について

問8 あて名のお子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます。

お子さんは、放課後（平日の授業・クラブ活動など終了後）の時間をどのような場所で過ごされていますか。また、希望としてはどのような場所で過ごさせたいですか。現状と希望について、1週当たりの日数をお答えください。

放課後を過ごす場所【複数選択可】	1週当たりの日数【数字を記入】	
	現 状	希 望
1. 自宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
3. 習い事(スポーツ、塾など)	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
4. ファミリー・サポート・センター※7	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
5. 児童館※2	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
6. 放課後児童クラブ※9	週 <input type="checkbox"/> 日くらい 下校時から 時 分まで	週 <input type="checkbox"/> 日くらい 下校時から 時 分まで
7. 放課後子ども教室※8	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
8. アフタースクール※1	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
9. 放課後等デイサービス※10	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
10. その他(図書館、公園など)	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい

### 3. 放課後児童クラブの利用希望について

<すべての方にうかがいます。>

問10 現在利用している、していないにかかわらず、あて名のお子さんについて、平日、土曜日、日・祝日、長期休暇中（春・夏・冬休み）における、放課後児童クラブの利用希望の有無と利用したい時間帯をお答えください。

- ・放課後児童クラブは両親が共働きであるなど、家庭において子どもを保育することが困難な場合に利用でき、一定の利用料が発生します。

利用したい時間帯の表記は、24時間制（例：8時00分～18時30分）でご記入ください。

	利用希望の有無【1つ選択】		利用したい時間帯【数字を記入】
平日	1. 週4日以上利用したい	➡	下校時から
	2. 週1～3日利用したい		<input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分まで
	3. 利用希望はない		
土曜日	1. ほぼ毎週利用したい	➡	<input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分から
	2. 月1～2回利用したい		<input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分まで
	3. 利用希望はない		
日・祝日	1. ほぼ毎週利用したい	➡	<input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分から
	2. 月1～2回利用したい		<input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分まで
	3. 利用希望はない		
長期休暇中 (春・夏・冬休み)	1. 週4日以上利用したい	➡	<input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分から
	2. 週1～3日利用したい		<input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分まで
	3. 利用希望はない		

## 4. 宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 1 1 この 1 年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、家族の病気など）により、あて名のお子さんを日帰りまたは泊りがけで、家族以外に預けなければならないことはありましたか。

あった場合には、「その際の対処法」を選択し、それぞれの日数をお答えください。

【どちらか選択】	その際の対処法【複数選択可】	年間利用日数【数字を記入】		
		日帰り	泊りがけ	
1. あった	➔	1. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった	□ □ 日	□ □ 日
		2. 短期入所生活援助(ショートステイ)事業 <sup>※4</sup> を利用した	□ □ 日	□ □ 日
		3. 認可外保育施設 <sup>※5</sup> またはベビーシッター等を利用した	□ □ 日	□ □ 日
		4. 仕方なく子どもを同行させた	□ □ 日	□ □ 日
		5. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□ □ 日	□ □ 日
		6. その他( )	□ □ 日	□ □ 日
2. なかった				

## 5. 病気の際の対応について

問12 あて名のお子さんについて、この1年間に病気やケガのために小学校に通うことができず、特別な対応をとる必要性がありましたか。必要性があった場合はこの「1年間の対処方法」を選択し、それぞれの利用日数をお答えください。(半日の場合も1日とカウントしてください。)

必要性の有無 【どちらか選択】	1年間の対処方法【複数選択可】	利用日数 【数字を記入】	
1. あった	1. 父親が休んだ	□ □ 日	}
	2. 母親が休んだ	□ □ 日	
	3. (同居者を含む)親族・知人に預けた	□ □ 日	
	4. 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	□ □ 日	
	5. ベビーシッターを頼んだ	□ □ 日	}
	6. ファミリー・サポート・センターを利用した	□ □ 日	
	7. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□ □ 日	
	8. その他( )	□ □ 日	
2. なかった			

**<問12の「1年間の対処方法」で「1」または「2」を選んだ方にうかがいます。>**

問12-1 その際、できれば「病児・病後児保育事業」※<sup>6</sup>を利用したいと思われましたか。思われた場合は希望日数と利用したい事業をお答えください。

なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

病気の際の意向 【どちらか選択】					
1. できれば利用 したいと思った	<table border="1"> <tr> <td>希望日数 【数字を記入】</td> <td><input type="text"/> <input type="text"/> 日 ← 問12で1、2と答えた日数の合計に対して</td> </tr> <tr> <td>利用したい事業 【複数選択可】</td> <td>                     1. 小児科などに併設した施設で子どもを預かる場所                      2. ファミリー・サポート・センター(住民が身近な場所で預かる事業)                      3. その他( )                 </td> </tr> </table>	希望日数 【数字を記入】	<input type="text"/> <input type="text"/> 日 ← 問12で1、2と答えた日数の合計に対して	利用したい事業 【複数選択可】	1. 小児科などに併設した施設で子どもを預かる場所 2. ファミリー・サポート・センター(住民が身近な場所で預かる事業) 3. その他( )
	希望日数 【数字を記入】	<input type="text"/> <input type="text"/> 日 ← 問12で1、2と答えた日数の合計に対して			
利用したい事業 【複数選択可】	1. 小児科などに併設した施設で子どもを預かる場所 2. ファミリー・サポート・センター(住民が身近な場所で預かる事業) 3. その他( )				
2. 利用したいとは思わなかった					

**<問12の「1年間の対処方法」で「3」から「8」のいずれかを選んだ方にうかがいます。>**

問12-2 その際、できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思われましたか。思われた場合は「仕事を休んで看たい」日数をお答えください。「休んで看ることが難しい」場合はその理由を合わせてお答えください。

希望の有無 【どちらか選択】			
1. 仕事を休んで看たい	<table border="1"> <tr> <td>希望日数 【数字を記入】</td> <td><input type="text"/> <input type="text"/> 日 ← 問12で3～8と答えた日数の合計に対して</td> </tr> </table>	希望日数 【数字を記入】	<input type="text"/> <input type="text"/> 日 ← 問12で3～8と答えた日数の合計に対して
希望日数 【数字を記入】	<input type="text"/> <input type="text"/> 日 ← 問12で3～8と答えた日数の合計に対して		
2. 休んで看ることが難しい			

## 6. 子育て支援全般について

<すべての方向にかがいます。>

問13 子育てをされていて感じることはありますか。それぞれについて当てはまる番号1つに○をつけてください。

	よく感じる	時々感じる	あまり感じない	まったく感じない
1. 子育てが楽しい	1	2	3	4
2. 子どもの顔を見ると気持ちが安らぐ	1	2	3	4
3. 子どもがいると家庭が明るくなる	1	2	3	4
4. 自分の時間がとれず自由がない	1	2	3	4
5. 子育てに不安・負担を感じる	1	2	3	4
6. 仕事と子育ての両立が難しい	1	2	3	4

問14 登別市は子育てがしやすいまちだと思いますか。また、その理由についてご記入ください。(1つに○)

1. とてもしやすいまちだと思う	4. しやすいまちだとは思わない
2. どちらかといえば、しやすいまちだと思う	5. わからない
3. あまりしやすいまちだとは思わない	
<理由欄>	

問15 以前(3~5年前)に比べ、登別市の子育て環境は良くなったと思いますか。また、その理由についてご記入ください。(1つに○)

1. とても良くなったと思う	4. どちらかといえば悪くなったと思う
2. どちらかといえば良くなったと思う	5. 最近転入してきてよくわからない
3. あまり変わらない	6. わからない
<理由欄>	

問 1 6 あなたが登別市に望む子育て支援策はありますか。  
ある場合は該当する番号 5 つまでに○をつけてください。

登別市に望む子育て支援策	
1. 子育て支援センターの拡充	12. 幼稚園・保育所の無償化
2. 育児相談員の設置	13. 幼稚園での降園後の預かり保育 <sup>※1</sup>
3. 保健師の充実	14. 幼稚園における夏休み・冬休み等の預かり保育
4. 乳幼児健診の充実	15. 休日保育実施箇所の拡充
5. 医療費の免除拡大	16. 保育所・幼稚園での一時預かり
6. 病院の充実	17. 子育て世帯への生活品の割引・優遇措置等
7. 妊婦健診の無償化	18. 要支援児童、要保護児童等の支援
8. 子育て教室	19. 育児休業取得など企業理解への支援
9. 児童館の整備	20. 公共施設の授乳室設置箇所の拡充
10. 児童館直接来館実施箇所の拡充 <sup>※3</sup>	21. その他 ( )
11. 休日・雨天時の活動施設	

問 1 7 最後に、子育て支援に関してご意見・ご要望がございましたら、ご自由にご記入ください。


**以上でアンケート調査は終了です。**

**ご協力ありがとうございました。**

**同封の封筒に入れ、5月10日(金)までにご投函ください。**

## 用語説明

## あ行

※1 アフタースクール	学童保育と学習塾の要素を兼ね備えた教育付学童保育を提供する事業です。 市内には、民間事業者が実施するアフタースクールが1か所あります。
----------------	--

## さ行

※2 児童館	児童に健全な遊びの場を与え、その情操を育み、健康を増進することにより、児童の健全育成を図ることを目的とする施設です。 小学生から高校生は自由に利用することができます。 市内には11か所の児童館があります。 【市内児童館】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・富浜児童館(栄町2丁目)</li> <li>・幌別児童館(幌別町4丁目)</li> <li>・富士児童館(富士町1丁目)</li> <li>・富浦児童館(富浦町1丁目)</li> <li>・登別児童館(登別東町4丁目)</li> <li>・鷺別児童館(鷺別町4丁目)</li> <li>・常盤児童館(常盤町2丁目)</li> <li>・美園児童センター(美園町5丁目)</li> <li>・青葉児童館(青葉町)</li> <li>・若草つどいセンター児童室(若草町4丁目)</li> <li>・登別温泉公民館児童室(登別温泉町)</li> </ul> 【開館日】日・祝日を除く毎日 【時 間】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・9時～17時(3月～10月)</li> <li>・9時～16時(11月～2月)</li> </ul> 【利用料】なし
※3 直接来館	小学校の就業日(登校する日)の授業終了後、一旦帰宅せずに直接児童館へ来館できる仕組みです。 【実施児童館(4か所)】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・登別児童館(登別東町4丁目)</li> <li>・鷺別児童館(鷺別町4丁目)</li> <li>・常盤児童館(常盤町2丁目)</li> <li>・青葉児童館(青葉町)</li> </ul> 【開設日】小学校の就業日(登校する日) 【時 間】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後～17時までに帰宅できる時間まで(3月～10月)</li> <li>・放課後～16時までに帰宅できる時間まで(11月～2月)</li> </ul> ※ただし、小学校外出門限時間が上記終了時間より早い場合は、門限時間までに帰宅できる時間まで。 【利用料】なし(事前に、直接来館登録と来館計画書の提出が必要です。)

## た行

<p>※4 短期入所生活援助 (ショートステイ)事業</p>	<p>お子さんを養育している保護者が、病気などでお子さんを養育することが一時的にできなくなった場合に児童養護施設等で養育する事業です。(原則7日以内)</p> <p>【場 所】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わかすぎ学園(室蘭市母恋南町5丁目)</li> <li>・市内在住の里親宅</li> </ul> <p>【利用料】あり</p> <p>2歳未満の児童 0円～5,350円 2歳以上の児童 0円～2,750円</p> <p>※所得に応じて利用料金が変わります。</p>
--	---

## な行

<p>※5 認可外保育施設</p>	<p>児童福祉法上の認可を受けていない保育施設で、乳児または幼児を保育することを目的とする施設です。</p> <p>市内には0～2歳児を預かる民間事業者の施設が1か所あります。(事業所内保育所を除く)</p> <p>【利用料】あり</p> <p>お子さん1人につき月額1万円～10万円程度</p>
-----------------------	--

## は行

<p>※6 病児・病後児保育</p>	<p>保護者の就労などの理由により、病気中もしくは病気の回復期にある児童を、家庭内で保育できない場合、病院、診療所、保育所などに付属して設置された専用スペースで一時的に行う保育事業です。</p> <p>現在、市内にはありません。</p>												
<p>※7 ファミリー・サポート ・センター</p>	<p>「子育てを支援してほしい人」と「子育てを応援したい人」が会員となって、地域ぐるみで育児を支援していく事業です。</p> <p>【利用料】あり</p> <table data-bbox="523 1122 1236 1265"> <tr> <td>通常(平日7時～21時)</td> <td>1時間あたり</td> <td>500円</td> </tr> <tr> <td>早朝・夜間(通常以外の時間)</td> <td>1時間あたり</td> <td>600円</td> </tr> <tr> <td>土・日・祝日</td> <td>1時間あたり</td> <td>600円</td> </tr> <tr> <td>病児の場合</td> <td>1時間あたり</td> <td>600円</td> </tr> </table>	通常(平日7時～21時)	1時間あたり	500円	早朝・夜間(通常以外の時間)	1時間あたり	600円	土・日・祝日	1時間あたり	600円	病児の場合	1時間あたり	600円
通常(平日7時～21時)	1時間あたり	500円											
早朝・夜間(通常以外の時間)	1時間あたり	600円											
土・日・祝日	1時間あたり	600円											
病児の場合	1時間あたり	600円											
<p>※8 放課後子ども教室</p>	<p>放課後や週末に教室等を開放し、学習やスポーツ等をして過ごすなど、子どもの居場所を提供する事業です。</p> <p>市内には2か所の放課後子ども教室があります。</p> <p>【場 所】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鷺別小学校(ひなわしメート)</li> <li>・幌別東小学校(はまなすメート)</li> </ul> <p>【開設日】週2回程度</p> <p>【時 間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通常 放課後～17時</li> <li>・長期休業日等 9時～16時(12時一時帰宅)</li> </ul> <p>【利用料】なし</p>												

<p>※9 放課後児童クラブ</p>	<p>保護者の就労などにより昼間不在の小学校低・中学年等に適切な遊びや生活の場を提供する施設です。 市内の小学校及び公共施設内7か所に設置されています。</p> <p><b>【場 所】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・富岸児童クラブ(富岸町2丁目)</li> <li>・常盤児童クラブ(常盤町2丁目)</li> <li>・若草児童クラブ(若草町1丁目)</li> <li>・青葉児童クラブ(桜木町2丁目)</li> <li>・幌別西児童クラブ(片倉町5丁目)</li> <li>・鷺別児童クラブ(鷺別町4丁目)</li> <li>・登別児童クラブ(登別本町2丁目)</li> </ul> <p><b>【開設日】</b> 日・祝日を除く毎日</p> <p><b>【時 間】</b> 放課後～18時(土曜、長期休業中は8時から18時)</p> <p><b>【利用料】</b> 月額6千円(軽減される場合もあります。)</p>
<p>※10 放課後等デイサービス</p>	<p>心身の発達に心配のある就学児童が通所し、日常の生活動作の指導や集団への適応訓練を行う施設です。</p> <p><b>【場所・時間】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童デイサービスセンターのぞみ園(幌別町3丁目)</li> </ul> <p>平日9時～17時半</p> <p><b>【利用料】</b> あり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の所得に応じ、利用料の負担があります。</li> </ul>

## や行

<p>※11 幼稚園の預かり保育</p>	<p>通常の就園時間を延長して、お子さんを預かる保育事業です。</p> <p><b>【利用料】</b> あり 1回500円程度</p>
--------------------------	---

登別市子ども・子育て支援に関するニーズ調査

報告書

(小学生編)

令和元年11月

【編集・発行】登別市保健福祉部こども家庭グループ

〒059-8701 登別市中央町6丁目11番地